

平成25年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年 7 月24日
東

上 場 会 社 名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所
コ ー ド 番 号 8151 URL <http://www.toyo.co.jp/>
代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771
四半期報告書提出予定日 平成25年 8 月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成24年10月 1 日～平成25年 6 月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 9 月期第 3 四半期	14,503	△8.8	1,587	△33.5	1,651	△38.5	995	△35.0
24年 9 月期第 3 四半期	15,895	11.8	2,386	31.4	2,684	31.0	1,531	23.7

(注) 包括利益 25年 9 月期第 3 四半期 1,318百万円 (△14.4%) 24年 9 月期第 3 四半期 1,540百万円 (27.1%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年 9 月期第 3 四半期	35.06	34.91
24年 9 月期第 3 四半期	52.64	52.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 9 月期第 3 四半期	33,959	30,347	89.2
24年 9 月期	36,927	32,241	87.2

(参考) 自己資本 25年 9 月期第 3 四半期 30,280百万円 24年 9 月期 32,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 9 月期	—	12.00	—	27.00	39.00
25年 9 月期	—	16.00	—		
25年 9 月期(予想)				17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年 9 月期の連結業績予想 (平成24年10月 1 日～平成25年 9 月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△4.2	2,250	△27.2	2,450	△29.5	1,500	△20.8	53.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当しております。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期3Q	29,085,000株	24年9月期	30,637,000株
25年9月期3Q	1,630,105株	24年9月期	1,552,152株
25年9月期3Q	28,386,194株	24年9月期3Q	29,084,894株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
（6）重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、円安への流れが一服し、株価の上昇基調も一旦の調整を経て落ち着きを見せるなか、消費者マインドの高まりにより個人消費は底堅く推移、また、企業においては設備投資の伸びが今一つながら、生産活動ならびに輸出も持ち直してきており、全体的に緩やかな回復基調をたどりました。海外は、中国を筆頭にアジア全体の景気に停滞感が見受けられ、欧州経済についても債務不安を内包したまま停滞しており、唯一米国の景気回復が確かなものになりつつあるという状況でした。

こうした中、当社グループは“はかる技術”を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心にした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心にした自社システム製品の増強に力を入れてきました。この結果、連結売上高は145億3百万円（前年同四半期比8.8%減）となり、この内、輸入国内取引高は139億5千2百万円、韓国向けを中心とした日本からの輸出取引高は5億4千4百万円となりました。

利益面では、営業利益15億8千7百万円（前年同四半期比33.5%減）、経常利益16億5千1百万円（前年同四半期比38.5%減）、四半期純利益は9億9千5百万円（前年同四半期比35.0%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(物性測定機器事業)

物性測定機器事業におきましては、新エネルギーの要素技術である電池素材の開発や新たな半導体素材の研究が継続し、物質の電気特性の測定評価への強いニーズは依然高かったものの、売上高は30億9千1百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は2億9千2百万円（前年同四半期比25.2%減）となりました。

(情報通信測定機器事業)

情報通信測定機器事業におきましては、スマートフォンの普及による急激なデータ増に対応すべく、LTEやクラウドコンピューティング、ビッグデータに関連する技術開発が従来に倍するスピードで進んでおり、合わせてセキュリティへの関心も強くなっておりませんが、売上高は41億8千7百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は4億4千6百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

(振動解析測定機器事業)

振動解析測定機器事業におきましては、鉄道・航空関連産業向けは堅調でしたが、中心となる自動車関連業界の研究開発投資の抑制が続いたため、低調に推移しました。この結果、売上高は25億7千万円（前年同四半期比11.8%減）、営業利益は6億5千6百万円（前年同四半期比35.0%減）となりました。

(EMC測定機器事業)

EMC測定機器事業におきましては、国内市場は特に大手電機各社を中心として依然低調であり、中国市場で補うにはいたりませんでした。この結果、売上高は13億6千2百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業損失は2千6百万円（前年同四半期は4千6百万円の営業利益）となりました。

(その他の測定機器事業)

その他の測定機器事業におきましては、多岐に渡る測定分野が対象になっており、復興需要を背景にした海洋計測機器は堅調でしたがその他の分野に伸びがみられず、売上高は30億8千7百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業利益は5億1千5百万円（前年同四半期比29.9%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ29億6千7百万円減少し、339億5千9百万円となりました。主な減少要因は、有価証券の減少21億1千7百万円、投資有価証券の減少17億8千万円等によるものであります。一方、主な増加要因は、現金及び預金の増加10億3千9百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億7千3百万円減少し、36億1千2百万円となりました。主な減少要因は、未払法人税等の減少10億7千2百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18億9千4百万円減少し、303億4千7百万円となりました。主な減少要因は、自己株式の取得19億9千9百万円及び配当金の支払い7億8千5百万円等によるものであります。一方、主な増加要因は、四半期純利益9億9千5百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の通期連結業績予想及び配当予想につきましては、平成24年10月24日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては本日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,596,609	3,636,438
受取手形及び売掛金	3,955,258	2,974,329
有価証券	9,519,307	7,401,908
商品及び製品	819,038	847,865
その他	724,145	1,086,537
貸倒引当金	△800	△600
流動資産合計	17,613,559	15,946,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,532,394	2,473,606
車両運搬具（純額）	11,787	11,153
工具、器具及び備品（純額）	396,143	409,025
土地	5,596,785	5,596,785
有形固定資産合計	8,537,111	8,490,571
無形固定資産		
その他	48,185	73,532
無形固定資産合計	48,185	73,532
投資その他の資産		
投資有価証券	6,637,416	4,857,171
長期預金	2,900,000	3,500,000
その他	1,216,843	1,117,806
貸倒引当金	△25,800	△25,800
投資その他の資産合計	10,728,460	9,449,177
固定資産合計	19,313,757	18,013,281
資産合計	36,927,316	33,959,760
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,552,414	1,466,660
未払法人税等	1,072,440	—
賞与引当金	540,000	260,000
役員賞与引当金	38,000	—
その他	830,866	1,229,518
流動負債合計	4,033,721	2,956,178
固定負債		
退職給付引当金	485,778	498,192
その他	166,560	158,250
固定負債合計	652,338	656,442
負債合計	4,686,059	3,612,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	25,232,319	23,385,563
自己株式	△1,638,583	△2,032,371
株主資本合計	32,355,236	30,114,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△154,824	120,900
繰延ヘッジ損益	△1,882	25,804
為替換算調整勘定	△442	19,341
その他の包括利益累計額合計	△157,149	166,047
新株予約権	43,169	66,400
純資産合計	32,241,256	30,347,138
負債純資産合計	36,927,316	33,959,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	15,895,742	14,503,730
売上原価	8,308,853	7,893,914
売上総利益	7,586,888	6,609,816
販売費及び一般管理費	5,200,615	5,021,892
営業利益	2,386,273	1,587,924
営業外収益		
受取利息	111,768	73,619
受取配当金	34,356	34,829
有価証券売却益	67,738	19,784
為替差益	55,570	—
その他	78,896	10,166
営業外収益合計	348,331	138,399
営業外費用		
支払利息	4,438	3,865
有価証券売却損	27,198	16,211
自己株式取得費用	—	18,488
為替差損	—	35,090
持分法による投資損失	17,918	—
その他	919	1,235
営業外費用合計	50,475	74,891
経常利益	2,684,130	1,651,432
特別利益		
固定資産売却益	8,891	34,510
投資有価証券売却益	7,287	—
国庫補助金	—	3,242
特別利益合計	16,179	37,753
特別損失		
固定資産処分損	1,815	15,838
固定資産圧縮損	—	3,020
ゴルフ会員権評価損	—	5,786
為替換算調整勘定取崩額	55,385	—
特別損失合計	57,200	24,645
税金等調整前四半期純利益	2,643,108	1,664,540
法人税、住民税及び事業税	1,071,000	472,000
法人税等調整額	41,011	197,338
法人税等合計	1,112,011	669,338
少数株主損益調整前四半期純利益	1,531,097	995,201
四半期純利益	1,531,097	995,201

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,531,097	995,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,645	275,725
繰延ヘッジ損益	△4,735	27,686
為替換算調整勘定	53,157	19,784
その他の包括利益合計	9,776	323,196
四半期包括利益	1,540,873	1,318,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,540,873	1,318,397
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	物性 測定機器 事業	情報通信 測定機器 事業	振動解析 測定機器 事業	EMC 測定機器 事業	その他の 測定機器 事業	計		
売上高	3,175,014	4,287,994	2,915,394	1,505,966	3,458,636	15,343,006	552,735	15,895,742
セグメント利益 又は損失(△)	390,922	613,724	1,009,554	46,385	735,035	2,795,622	△3,492	2,792,129

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に韓国向けの社会インフラ等の販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,795,622
その他の区分の損失	△3,492
全社費用(注)	△405,856
四半期連結損益計算書の営業利益	2,386,273

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	物性 測定機器 事業	情報通信 測定機器 事業	振動解析 測定機器 事業	EMC 測定機器 事業	その他の 測定機器 事業	計		
売上高	3,091,003	4,187,446	2,570,367	1,362,986	3,087,700	14,299,503	204,227	14,503,730
セグメント利益 又は損失(△)	292,580	446,522	656,129	△26,498	515,580	1,884,314	△11,495	1,872,818

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に韓国向けの社会インフラ等の販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,884,314
「その他」の区分の損失	△11,495
全社費用（注）	△284,894
四半期連結損益計算書の営業利益	1,587,924

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

（1）自己株式の取得

当社は、平成24年10月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年10月25日から平成25年5月21日にかけて、市場買付により当社普通株式1,632,000株を総額1,999,875千円にて取得しております。この結果、主にこの影響により自己株式が2,000,437千円増加しております。

（2）自己株式の消却

当社は、平成24年10月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年1月15日付で自己株式1,552,000株の消却を実施しております。この結果、自己株式が1,604,036千円減少し、利益剰余金も同額減少しております。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。